

1. 略歴

- 1979年3月 東京工業大学工学部情報工学科卒
1981年3月 東京工業大学大学院総合理工学研究科電子システム専攻修士課程了
1981年4月 日本電信電話公社(現NTT)入社
1986年9月～1990年2月 ATR 視聴覚機構研究所(出向)
1990年9月 東京工業大学より工学博士号授与
1991年11月～1992年12月 東京大学生産技術研究所 客員助教授
1995年6月～1996年6月 南カリフォルニア大学 客員研究員
1998年10月 東京大学大学院人文社会系研究科 助教授
2006年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 教授
2009年12月～2010年3月 カリフォルニア大学パークレイ校 客員研究員

2. 主な研究活動

a 専門分野

統合的認知の心理学

b 研究課題

統合的認知について、認知心理学的研究を行っている。統合的認知とは、知覚された特徴がどのように記憶や言語や概念と関わりあって、認知に至るのかを解明しようとする広範囲の研究を指している。特に、視覚的注意やオブジェクト認知の問題を中心に研究している。さらに、感覚融合認知や共感覚に関する研究にも取り組んでおり、研究分野は視覚だけに限らず、扱っている研究課題は多岐に渡っている。

c 主要業績

(1) 論文

- R. Nakashima & K. Yokosawa, 「Sustained attention can create an (illusory) experience of seeing dynamic change」、『Visual Cognition』、20, 3, pp. 265-283, 2012
M. Asano & K. Yokosawa, 「Synesthetic colors for Japanese late acquired graphemes」、『Consciousness and Cognition』、21, 2, pp. 983-993, 2012
横澤、金谷、「顔と音声の感覚融合としての腹話術効果」、『BRAIN and NERVE』、64, 7, 771-777 頁、2012
西村、横澤、「空間的刺激反応適合性効果」、『心理学評論』、55, 4, 436-458 頁、2012
S. Kanaya, Y. Matsushima, & K. Yokosawa, 「Does Seeing Ice Really Feel Cold? Visual-Thermal Interaction under an Illusory Body-Ownership」、『PLoS ONE』、DOI:10.1371/journal.pone.0047293, 2012
R. Nakashima & K. Yokosawa, 「Visual search in divided areas: Dividers initially interfere with and later facilitate visual search」、『Attention, Perception & Psychophysics』、75, 2, pp. 299-307, 2013
R. Nakashima, K. Kobayashi, E. Maeda, T. Yoshikawa, & K. Yokosawa, 「Visual search of experts in medical image reading: The effect of training, target prevalence, and expert knowledge」、『Frontiers in Educational Psychology』、DOI: 10.3389/fpsyg.2013.00166, 2013
M. Asano & K. Yokosawa, 「Determinants of synaesthetic colours for different types of graphemes: Towards a comprehensive model」、『Visual Cognition』、21, 6, pp. 674-678, 2013
M. Asano & K. Yokosawa, 「Grapheme learning and grapheme-color synesthesia: Toward a comprehensive model of grapheme-color association」、『Frontiers in Human Neuroscience』、7:757. DOI: 10.3389/fnhum.2013.00757, 2013
E. Maeda, T. Yoshikawa, R. Nakashima, K. Kobayashi, K. Yokosawa, N. Hayashi, Y. Masutani, N. Yoshioka, M. Akahane & K. Ohtomo, 「Experimental system for measurement of radiologists' performance by visual search task」、『SpringerPlus』、2: 607. DOI: 10.1186/10.1186/2193-1801-2-607, 2013
横澤、「統合的認知に関する心理学アプローチ」、『ネイチャーインタフェイス』、58, 3-5 頁、2013.8

K. Tamaoka, M. Asano, Y. Miyaoka, & K. Yokosawa, 「Pre- and post-head processing for single- and double-scrambled sentences of a head-final language by the eye tracking method」, 『Journal of Psycholinguistic Research』, 43, 2, pp.167-185, 2014

W. Yamashita, R. Niimi, S. Kanazawa, M. Yamaguchi K., & K. Yokosawa, 「Three-quarter view preference for three-dimensional objects in 8-month-old infants」, 『Journal of Vision』, 14(4), 5. doi:10.1167/14.4.5, pp.1-10, 2014

(2) 書評

山口真美, 柿木隆介, 『顔を科学する 適応と障害の脳科学』, 『基礎心理学研究』, 32, 1, 57-58 頁, 2013

(3) 解説

新美, 横澤, 「反応時間」, 『脳科学辞典』, 2013

横澤, 「共感覚」, 『最新心理学事典』, 2013

(4) 学会発表

国内, 横澤一彦, 「「注意と認知」から「統合的認知」へ」, 日本心理学会第10回注意と認知研究会, 2012.3.19

国内, 横澤一彦, 「統合的認知」, 日本認知科学学会第29回大会, 2012.12.13

国内, 横澤一彦, 「統合的認知に関する心理学アプローチ」, 第14回人間情報学会講演会, 2013.4.17

国内, 横澤一彦, 「十人十色」, 日本認知科学学会サマースクール, 2013.9.4

(5) 啓蒙

横澤一彦, 「リアルに魅かれる理由」, 『フィナンシャル ジャパン』, 2012年6月号, 34-35 頁, 2012.6

(6) マスコミ

「見た目でヒヤリ」, 『朝日新聞』, 2012.11.8

「見た目で温度“錯覚”」, 『電気新聞』, 2012.11.8

「“視覚情報 温度感覚に影響与える”研究成果」, 『NHK ニュース』, 2012.11.8

「視覚が温度感覚に影響」, 『毎日新聞』, 2012.11.9

「“ラバーハンド錯覚”視覚情報が温度感覚に影響」, 『日本テレビニュース』, 2012.11.12

「視覚で温度感覚左右」, 『科学新聞』, 2012.11.16

「視覚が温度感覚に影響」, 『東京大学新聞』, 2012.11.20

「東大最前線、認知科学」, 『東京大学新聞』, 2012.12.11

(7) 受賞

国内, 金谷翔子, 石渡貴大, 横澤一彦, 優秀論文賞, 日本基礎心理学会, 2012.11.4

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

特別講演, 日本科学未来館, 「共感覚～あなたは世界をどう感じますか?」, 2013.8～